

平成 29 年度大野南地区地域活性化事業交付金 交付決定事業の概要と評価

申請事業名	相模大野のこどものまち（5年目）
申請団体	相模大野のこどものまち実行委員会
事業目的	イベントを通して、商店や企業を含めた地域と子どもたち、学生との接点を作り、また店舗運営や社会の仕組みを学んでもらうことで未来の相模大野で活躍できる人材を育成したい。
交付決定日	平成29年4月27日
交付決定額 （事業費）	331,000円（決算701,600円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>8月12日及び13日の2日間、相模女子大にて「相模大野のこどものまち」を開催した。</p> <p>参加者数は地域の子ども322名、プロジェクト委員18名、ボランティア66名、専門家48名、事務局8名であった。</p> <p>自己評価</p> <p>今年は「学生が指揮し、学生が行動する」を実践し、いろいろな困難や課題を自ら考え行動していく姿が多く見られた。また新たに介護士などの仕事を企画し専門家へ依頼していった。大人以上にまちの課題を考え、解決していくことを積極的に行うことで、よりよいまちづくりができることを気付かせることが出来た。今後、まちづくり会議などへ新しい考えを持つ市民として、若者や子どもたちを参画させ、このまちのまちづくりに活かされることを望む。</p>
市 評 価	<p>相模女子大学との共催により、大学を会場にしながら、相模女子大学の学生やOG等を中心に、1年限りの活動ではなく、学生が主体となって継続的な運営をしていく機運が高まっている。</p> <p>参加者の子どもたちや学生ボランティアの中から、事業実施後も自主的に「こどものまち」を継続していく動きも生まれており、今後も、さらなる地域や企業との連携強化が期待される。</p>
備 考	

申請事業名	防犯・交通安全に関する啓発事業及び支援事業（5年目）
申請団体	特定非営利活動法人 さがみはら市民交番青パト隊
事業目的	J R町田駅周辺の風俗街を復活させない事とともに、周辺地域の防犯や交通安全活動を目的とする。具体的には地域住民やボランティアの協力を得て、週4回の青色パトロールカーに依る啓発活動を行っている。
交付決定日	平成29年4月27日
交付決定額 （事業費）	200,000円（決算405,328円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>防犯・交通安全は市民の安心安全に欠かせない。そのための啓発活動及び行政支援活動を青色灯搭載パトロール車に依り今年度214回行った。頻度は週当たり4日～5日で、1クルー2名あるいは3名が乗務し、録音アナウンスあるいは直接マイクにて防犯や交通安全を呼びかけた。</p> <p>青パトによる防犯啓発活動を未永く継続してゆくためには若い活動参加者を増やすことが課題であり、更に活動隊員募集と広報を目的にホームページを立ち上げ活用している。</p> <p>自己評価</p> <p>振り込め詐欺の啓発活動は、大野南地区全域を拡声器で行っている。一時的なものでなく、発足以来5年間継続して行っていることで、相当に周知されたものと自負している。また、児童の登下校見守りも南大野小学校と鶴園小学校ではなじみの活動と言えるまでになった。特に、青パトを伴った登下校見守りは、子供たちにも、運転者にとっても安全配慮の面で効果は大きいと思われる。この様子をホームページで紹介することは、全国に発信することであり、防犯ボランティアの参考になればと思っている。</p>
市評価	<p>地域の安全・安心を保持することを目的とした青色防犯パトロールの実施は、市民が犯罪に遭わないように防犯意識を高めていくための効果と、犯罪者に対しての犯罪抑止の効果との双方が期待できる有効な手段であると評価できる。</p> <p>今後は自立に向けて、自主財源の確保が一層期待される。</p>
備考	

申請事業名	子ども食堂 peco (3年目)
申請団体	Peco
事業目的	食事作りや一緒に食べるということを通して、気軽に集え、ありのままにいられる居場所をつくることで、課題を抱えた子どもを早期発見し、適切な支援につなげ、貧困の世代間連鎖を防ぐことを目的とする。
交付決定日	平成29年4月27日
交付決定額 (事業費)	402,000円(決算630,000円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>今年度は、平成29年4月から平成30年3月末までに延べ23回ユニコムプラザさがみはらにて子ども食堂 peco を開催した。</p> <p>自己評価</p> <p>昨年度に比べ多くの小中学生に参加していただき、子ども達の居場所を作ることができた。子ども達が毎回、笑顔で参加していて学校、学年を超えた良い交流の場になったと思う。また子ども達、ボランティアが共に成長できた場にもなった。</p> <p>食材提供や寄付など地域住民の支えがとても心強かった。改めて地域の支えがあって活動ができていることを強く実感した。今後も地域の交流の場となれるよう頑張りたい。</p>
市評価	<p>経済的問題や、ひとり親世帯等で食事の支度がままならず、心と体を育むはずの「食」が揺らいでいる時代において、子どもの健康づくり、ひいては地域との繋がりづくりを目指す公益性の高い事業であると評価できる。</p> <p>来年度からユニコムプラザさがみはらに事業が移管されるが、定期的に活動状況を報告して欲しい。</p>
備考	

申請事業名	地域防災イベント「イザ！カエルキャラバン！in相模大野」(2年目)
申請団体	大野南地区連合自主防災隊
事業目的	発災時の状況を踏まえ、地域の子どもたちにもいざという時に自ら判断し、行動ができるようにするために、これまでなかなか防災訓練に参加しなかった次世代を担う子どもたちや若いファミリー等を対象に、震災時に必要な知恵や技を身につけてもらう「楽しみながら防災を学ぶ」をテーマにしたイベントを開催する。
交付決定日	平成29年6月6日
交付決定額 (事業費)	700,000円(決算746,189円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>平成29年11月11日(土)にポーノ相模大野で開催した。当日は好天に恵まれ、約800名の親子連れや子ども達の参加があり、大盛況だった。昨年度の反省を活かしてレイアウトや動線に配慮したため、どのコーナーも混雑が無くスムーズな運営ができた。今年度は心肺蘇生法(AED取扱い)訓練を追加し、消火、救出・救助訓練や防災・減災の知恵や技の習得などをゲーム感覚で楽しみながら学んでもらった。</p> <p>自己評価</p> <p>大野南地区では高齢化が進み、自治会員が51%前後である上、自治会主催の防災訓練に参加したことがない、防災に興味がない人も多いので、自治会員という枠を外し、小さい子どもやそのファミリーにも楽しく参加してもらえようような防災イベントを開催した。結果、大勢の家族連れにブースを体験してもらい、地域の防災力向上や防災意識の啓発に寄与できた。</p>
市評価	<p>今まで、防災訓練に参加することが少なかった、次世代を担う子どもたちや若いファミリー層などが多く参加し、「楽しみながら防災を学ぶ」という本事業の趣旨に則り、いざという時に自ら判断し、行動することができる「自助」、「共助」の考えに基づいたプログラムを実施することで必要な知恵や技を身に付けるきっかけになったと評価できる。</p> <p>今後も幅広い層の市民に防災を学習してもらうため、事業の継続が望まれる。</p>
備考	

申請事業名	自治会加入促進事業（1年目）
申請団体	パークスクエア相模大野自治会
事業目的	子育て支援は行政だけでなく、地域も担うものである。子育て世代にターゲットを絞って、事業をおこなうことにより、子育て支援と自治会加入率を上げることを目的としている。
交付決定日	平成29年9月7日
交付決定額 （事業費）	180,000円（決算180,093円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>子育て支援と自治会加入率を上げることを目的とし、3つのイベント（クリスマス会、書初め会、バレンタインデーチョコづくりイベント）を中心に行った。参加した親や子どもたちからは、イベントに参加して楽しかった、交流ができたと好評であった。</p> <p>また、今年度の加入世帯は100世帯（平成29年4月1日時点）から、106世帯（平成30年2月17日時点）へと6世帯が増えた。</p> <p>自己評価</p> <p>本自治会が設立されて8年が経過するが、役員がまわってくると退会する世帯が多く、大規模マンションでの自治会活動には困難を感じることもある。しかしながら、100世帯は何らかの交流を求めているため加入継続しており、今後は子育て世代だけでなく、高齢者や子どもがいない世帯も交流できるような活動が必要であると思われる。</p> <p>目標の10世帯増には及ばなかったが、現在の大規模マンションにおける自治会の現状であると評価している。</p>
市評価	<p>地域の大きな課題となっている、大型マンションの自治会加入率の低下を改善するため、子育て世代にターゲットを絞って事業を行い、目標には届かなかったが、自治会加入者を増やすことができた。</p> <p>まだまだ自治会加入率が低い状況であるため、今後も継続して自治会加入率の増加に努めてほしい</p>
備考	

申請事業名	町田ハイツ「語ろう会」(1年目)
申請団体	町田ハイツ「語ろう会」実行委員会
事業目的	<p>町田ハイツ内での「孤立化」排除を目的とし、災害発生時にも「共助」体制がスムーズに実践できる人間関係の構築が狙い。(前年度は、孫を含めた両親の参加もあり来場者は150名。)</p> <p>また、「会話」の機会を増やすことにより、「認知症」予防にも結び付くものと考えている。</p>
交付決定日	平成29年9月7日
交付決定額 (事業費)	70,000円(決算133,029円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>10月29日に開催。参加人員103名。実行委員30名を中心に会場設営。(雨天のため管理事務所を中心にテント設置)「やきそば」の作成販売、「くじ引き」等飲食に伴う会談を10:00~15:00まで実行した。</p> <p>自己評価</p> <p>前年比参加人数は減少となったが、雨天を考慮すると止むを得ないと思われる。当初雨天中止の方向であったが開催希望の要望が多数あったことから、「ニーズ」優先として決定した。実行委員も30名が積極的に参加し準備もスムーズに完了した。また、今後の活動についても「町田ハイツ団地管理組合」との共同事業として実施することが方向づけられたこともあり、資金的に安定する可能性が出た。</p>
市評価	<p>「語ろう会」の実施により、町田ハイツ内での「会話」の機会を提供し、人間関係の構築と、防災活動に対する関心を高めることができた。</p> <p>雨天にもかかわらず、多数の参加者があり、地域に根付いたイベントになっていることが伺える。</p> <p>今後は、自主財源の確保による自立した組織の運営が期待される。</p>
備考	

申請事業名	交通安全・オレオレ詐欺撲滅啓発事業（１年目）
申請団体	相模原市安全・安心まちづくり推進協議会 大野南支部
事業目的	地域住民、特に高齢者に対し視覚的に訴えることで交通安全や詐欺被害に対する意識の向上を図り、安全で安心して住みやすいまちづくりを目的とする。
交付決定日	平成３０年２月２７日
交付決定額 （事業費）	４３０，０００円（決算６２１，１９４円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>警察と連携し、作成したチラシ・ポスター・看板を自治会及び社会福祉協議会に配布すると共に交通安全・オレオレ詐欺撲滅のための注意啓発を行った。配布されたチラシ・ポスターは自治会区域内の回覧板での個別配布・掲示板への掲示、看板は自治会にて各所に掲示されている。どこにいても常に目にすることにより交通安全・オレオレ詐欺への意識高揚を図る。</p> <p>自己評価</p> <p>高齢化の進む交通事故、高齢者を狙ったオレオレ詐欺は共に問題が深刻化している。その中、今後交通安全・防犯の啓発運動の効果が現れ、少しでも被害者を減らしていく上で有効的な事業を行えた。</p>
市評価	<p>大野南地区では自転車の事故、特に高齢者の事故が多発しており、オレオレ詐欺の被害も増加している。このような中、地域住民に対し、交通安全とオレオレ詐欺撲滅啓発に関するポスターを回覧板で配布したり、掲示板に掲示することで、交通安全・詐欺に対する意識向上に貢献したと思われる。</p> <p>今後も市民の交通安全・詐欺に対する意識向上ため、事業の継続が望まれる。</p>
備考	

申請事業名	交通安全啓発事業（１年目）
申請団体	大野南地区交通安全母の会
事業目的	地域住民や児童に対し視覚的に訴えることで交通安全に対する意識の向上を図り、地域から一件でも交通事故を減らし、安全で安心に暮らすことができる地域にする。
交付決定日	平成３０年２月２７日
交付決定額 （事業費）	１８０，０００円（決算１８１，４４０円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>交通安全の普及・啓発を目的とし、地区内の小中学校の児童・生徒から「交通安全を呼びかけるポスター・標語」の募集を行っており、毎年すばらしい作品が数多く応募されている。入選作品は、南区合同庁舎や公民館、相模原南警察署で展示している他、作品集を作製し関係者に配布しているが、更に自治会の掲示板や地区内小学校等にポスターとして掲示することにより、より多くの方に交通安全について考える機会になるよう、啓発活動に活かしている。</p> <p>自己評価</p> <p>交通安全に対する子ども達の思いが込められたポスターが、大野南地区全体に掲示されることにより、地域一丸となって交通事故防止について考えるきっかけになったと思われる。</p>
市 評 価	<p>大野南地区では自転車に関係する事故だけでなく、高齢者が関係する事故も多く発生している。このような中、小中学生が作成したポスターを自治会の掲示板や学校内等に掲示することで、児童のみならず、幅広い年代の住民の交通安全に対する意識の向上に貢献したと思われる。</p> <p>今後も市民の交通安全に対する意識向上のため、事業の継続が望まれる。</p>
備 考	